

大久保茶屋



県産ミニトマトを使った「福とまとのわらもち」(手前)と「ゆずわらびもち」(左奥)＝福井市小山谷町の大久保茶屋

ミニトマト わらびもち

大久保茶屋(福井) 新感覚スイーツ開発

福井市足羽山公園内の大久保茶屋(同市小山谷町)は、県産ミニトマトを使った「ゆずわらびもち」「福とまとのわらもち」を発売した。わらびもちとトマトという珍しい組み合わせに加え、手作り高濃度のトマトの甘みと栄養が丸ごと摂取でき

る新感覚の野菜スイーツ。冬限定でユズを使った「ゆずわらびもち」も販売し、健康志向の女性の需要を見込む。今年10月に行われた市内の農産物と飲食店を結びつける市の「食のマッチング事業」をきっかけに開発された。

「福とまとのわらもち」は1人分につきミニトマト1個分を使用。トマト独特の青臭さがなく、甘みと後口の酸味を楽しめる。砂糖の使用量は同店のわらびもちの3割に抑え、トマトのうまみを最大限に引き出した。

「ゆずわらびもち」はユズの皮や粉末をふんだんに使い、さわやかな酸味と甘さを味わえる。店主の伊藤一貴さんは「野菜や甘い物が苦手な人にも好評を得ている。いずれは持ち帰り用商品も展開したい」と話している。

いずれも6個入り315円。店内販売のほか、同店のおせちにも添えられている。問い合わせは同店＝☎0776(36)0306。